

平成 19 年 11 月 14 日

各 位

会 社 名 株式会社Eストア  
代 表 者 代表取締役 石村 賢一  
コード番号 4304 ヘラクレス  
問い合わせ先 取締役  
コーポレートセンター 統括部長  
鈴木 祥治  
T E L 03-3595-1106

## 平成 19 年 9 月中間期業績の前年同期実績からの差異に関するお知らせ

当社は、業績の予想を開示しておりませんが、平成 19 年 9 月中間期（平成 19 年 4 月 1 日～平成 19 年 9 月 30 日）の業績が、前年同期の実績値に比較して重要な差異を生じることとなりましたので、大阪証券取引所の指導に基づき、下記のとおりお知らせいたします。

### 記

#### 1 平成 19 年 9 月中間期業績と前年同期実績との差異

(単位：百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前年同期実績 (A) (平成 18 年 9 月中間期業績)	1,339	132	47
今回発表実績 (B) (平成 19 年 9 月中間期業績)	1,414	215	122
増減額 (B - A)	74	83	74
増減率	5.6	62.7	156.6

#### 2 差異が生じた理由

当中間会計期間における売上高につきましては、本年 6 月に「ショップサーブ」のサービス内容及び価格を改定したことに伴い直販での累計契約件数が減少に転じたものの、OEMによる獲得件数が増加したことで、当社サービス全体での新規契約件数が 5,399 件、累計契約件数は 43,315 件となりました。直販での新規契約件数の減少に伴い申込料収入は減少しましたが、レンタルサーバーを中心とした既存顧客からの安定的な利用料収入及び各種サービスにおける決済代行売上の増加などによるサービス売上高の増加 42 百万円と、株式会社テレウェイヴリンクスに対するOEM提供を含めた受託売上高の増加 32 百万円により、74 百万円（対前年同期実績 105.6%）の増加となっております。

一方、経常利益につきましては、広告宣伝費の抑制により利益率が向上（売上高に対する販売費の割合を 8.8%減少）したことにより、売上高の増加 74 百万円に伴う変動原価の増加に関わらず営業費用を 17 百万円の減少とする事ができ、83 百万円（対前年同期実績 162.7%）の増加となっております。

以 上